

農林水産業

農家数

平成22年2月1日現在（2010年世界農林業センサス）の総農家数は5万2,355戸で、前回調査の平成17年（2005年農林業センサス）に比べ7,342戸

（12.3%）減少しました。総農家数を自給的農家と販売農家の別にみると、自給的農家は1万9,390戸、販売農家が3万2,965戸で、前年に比べ自給的農家が456戸（2.3%）、販売農家は6,886戸（17.3%）減少しています。

販売農家を主副業別にみると、主業農家が3,218戸（構成比9.8%）、準主業農家が7,797戸（同23.7%）、副業的農家が2万1,950戸（同66.6%）となっています。

図14 総農家数の推移

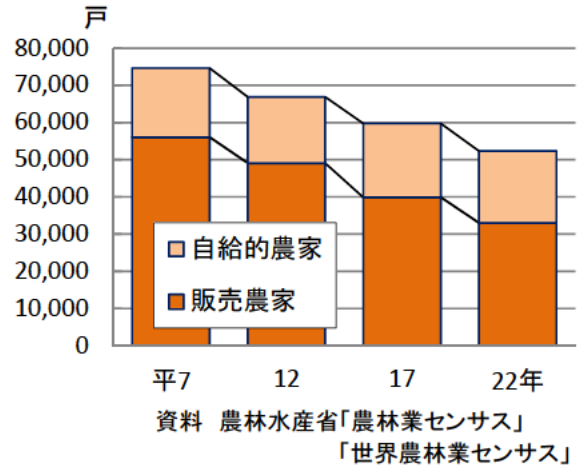
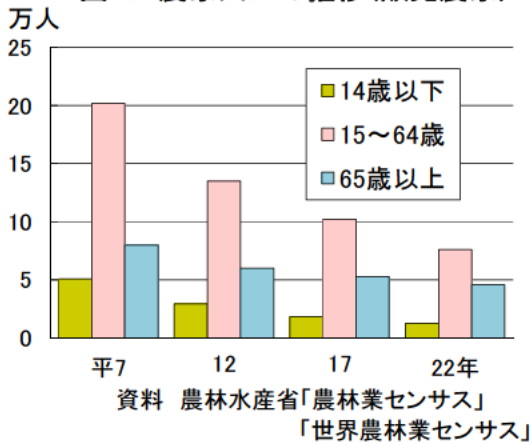


図15 農家人口の推移(販売農家)



農家人口(販売農家)

平成22年2月1日現在（2010年世界農林業センサス）の農家人口（販売農家）は13万4,284人で、前回調査の平成17年（2005年農林業センサス）に比べ3万9,101人（22.6%）減少しています。

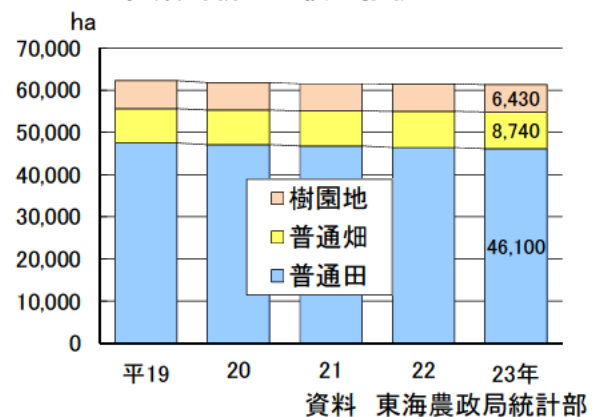
年齢別では、14歳以下が1万2,447人（構成比9.3%）、15～64歳が7万6,069人（同56.6%）、65歳以上が4万5,768人（同34.1%）で、平成17年に比べ、14歳以下が5,730人、15～64歳が2万6,153人、65歳以上が7,218人の減少となっています。

耕地面積

平成23年の耕地面積は6万1,300haで、前年に比べ200ha（0.3%）減少しました。

種類別にみると、普通田が4万6,100ha、普通畑が8,740ha、樹園地が6,430haで、前年に比べ普通田が300ha（0.6%）、樹園地が20ha（0.3%）減少し、普通畑は160ha（1.9%）増加しました。

図16 種類別耕地面積の推移



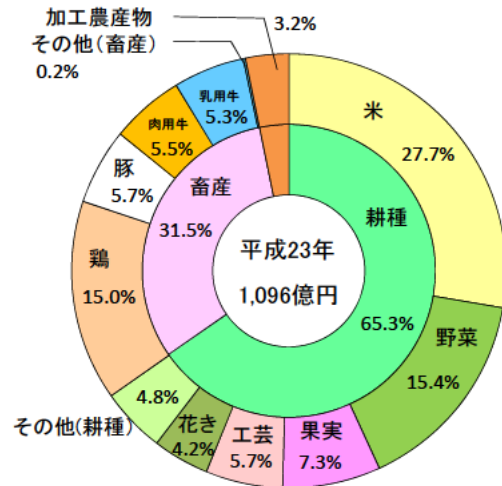
農業産出額

平成23年の農業産出額は1,096億円で、前年に比べ72億円（7.0%）増加しました。

種別割合をみると、耕種65.3%、畜産31.5%、加工農産物3.2%となっています。

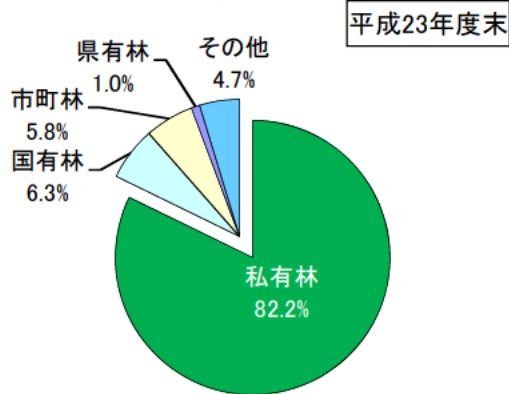
また、品目別では米が最も多く304億円（構成比27.7%）で、以下、野菜169億円（同15.4%）、鶏164億円（同15.0%）、果実80億円（同7.3%）などとなっています。

図17 農業産出額の品目別構成比



資料 東海農政局統計部

図18 森林保有形態別割合



資料 県森林・林業経営課

林業

平成24年3月末現在の森林面積は37万2,494haでした。

保有形態別にみると、私有林が82.2%と大半を占め、以下、国有林6.3%、市町林5.8%、県有林1.0%などとなっています。

また、民有林のうち人工林面積は21万8,108haで、天然林面積は12万3,321haとなっています。

漁業

平成23年の漁業総生産量のうち、海面漁業は16万8,870tで、前年に比べ1万6,431t（8.9%）減少しました。海面養殖業は2万5,347tで、前年に比べ1,158t（4.4%）減少しました。内水面漁業は588tで前年に比べ252t（75.0%）増加、内水面養殖業は370tで20t（5.1%）減少しました。

また、海面漁業の22年の生産額は342億4,900万円で、前年に比べ47億4,500万円（16.1%）増加しました。海面養殖業の生産額は149億600万円で、前年に比べ11億6,200万円（8.5%）増加しました。

図19 漁業生産量の推移

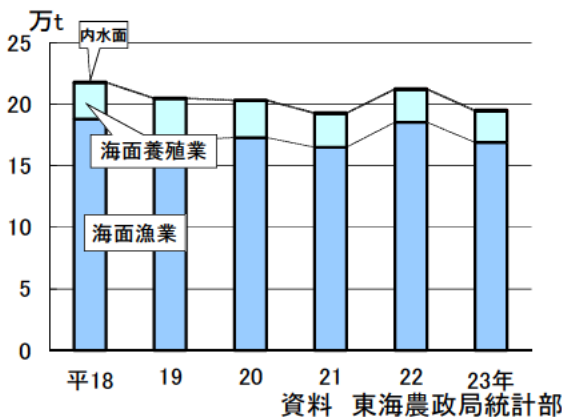


図20 漁業生産額(海面)の推移

